

令和7年度 桂川中学校ブロック小中一貫教育構想図

小中一貫 9年間の教育目標

「互いの生き方・考え方を尊重し合える関係を築き、自己の可能性を信じ、進もうとする児童生徒の育成」

めざす子ども像

- つながろうとする子
- そうぞうしようとする子
- こうどうしようとする子

育みたい資質・能力

- つながる力  
他者との関係を築くことのできる力
- そうぞうする力  
・相手の気持ちや未来の自分の姿を想像する力  
・新しいことを生み出し、社会や人生を豊かにする創造力
- こうどうする力  
自らの判断のもと、自ら動き出せる力

これら3つの力を支える土台は「健康に生きる力」である。

《学校教育目標》

「主体的な発信力・行動力を身につけ、社会性のある生徒の育成」

＜目指す子ども像＞

「自分の軸を持ち、愛し愛される生徒」

- (1) 自分の思いや考えを分かりやすく、他者へ伝えることができる。
- (2) 自身の意志や考えに基づき、行動することができる。
- (3) 自分や他者を大切にできる。

＜目指す教職員像＞

「生徒から分かりやすく、信頼される教職員」

- (1) 「子どもの心」に寄り添い、支えることができる。
- (2) 生徒に考え、気づかせ、かまいすぎず伴走者ができる。
- (3) 「専門職」として授業を大切に、探究し学び続ける。

川岡小

【学校教育目標】

自分も人も しあわせになる学校をめざして  
～かしこくなる やさしくなる えがおになる～



めざす子ども像

- 確かな学力 すすんでとりくむ子＜自己決定＞
- 豊かな心 力を合わせる子＜人間関係＞
- すこやかな体 心とからだを大切に使う子＜健康＞



めざす教職員像

- ◆子どものしあわせのために  
・子どもの力を引き出し、高める教職員
- ◆自分のしあわせのために  
・知的好奇心をもってチャレンジする教職員
- ◆みんなのしあわせのために  
・チーム・組織に貢献する教職員  
-キャリアステージに即した貢献-

川岡東小

【学校教育目標】

仲間とともに  
よりよい社会を創り出す子ども  
～自ら学ぶ力を高め、豊かな人権感覚を育み、  
心身の健康を保ちながら～  
具体的な姿

- ◎意欲的に学習に取り組み、仲間との課題追究を楽しむ姿
- ◎自らあいさつができ、いつでもはきものがそろえられる姿

めざす教職員像

子どもに背中を見せることができる教職員集団  
学校教育目標の具現化に向けて、職責を自覚し、自己研鑽に努め、教職員との連携を深めながら、粘り強く実践できる教職員集団をめざす

めざす学校像

＜『挑戦発展』の精神でちゃんとやりきる川岡東＞  
たくましく社会を生き抜くことができる子どもを育むことを第1に考え、地域の特性を踏まえ、地域の中で、地域とともに歩むことができる学校づくりをめざす  
『地域が誇れる学校をめざして』

桂東小

【学校教育目標】

人も自分も大切に、  
ともに前に進んでいける桂東の子  
めざす学校像 子どもも大人も  
みんなが通いたくなる学校  
～わくわくが止まらない魅力あふれる桂東小学校～  
桂東小学校を素敵な出会いの場・  
成長できる場・チャレンジの場に

- 愛(合)言葉…「この子(達)のために」
- 日々のコミュニケーション(目配り・気配り・心配り)で、どの子も「大切にされている実感」をもてる桂東小学校をめざす。
- 社会性の土台を築く場  
・失敗する権利・責任をとる経験を積める場  
・前向きなこと みんなのためにすること  
▮『まず やってみる』…失敗をおそれない  
▮『やり直せる』という安心感 その経験を積む場
- 児童や教職員の「〇〇したい」を尊重する  
▮ 児童が自走できる学校へ

小中一貫教育の充実（児童生徒の交流・ブロック合同教職員研修）

家庭、地域との連携・信頼関係の構築

学校評価の活用（小中合同学校運営協議会での共有）

開かれた学校づくりの推進